

令和4年度 大田区区民協働推進会議（第1回）

日時：令和4年4月26日（火）

場所：大田区役所 201・202 会議室

【議題】

- 1 中島会長挨拶
- 2 区長挨拶
- 3 委嘱状の交付
- 4 委員の紹介
- 5 区長との懇談
- 6 令和4年度実施スタートアップ助成、ステップアップ助成[新規]審査員・審査スケジュールについて
- 7 令和4年度大田区区民協働推進会議 開催及び審議内容予定について
- 8 その他

【出席者】

委員：中島・牛山・小林・中平・渡邊・小白木・酒井・前田(代理)・齊藤・中原・長谷川

事務局：地域力推進部長・区民協働担当課長・区民協働担当係長・区民協働担当1名・協働推進アドバイザー1名

【会議録】

事務局	<p>それでは、皆様おそろいになりましたので、ただいまより、令和4年度第1回大田区 区民協働推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>私は、本日の全体の進行を務めさせていただきます、区民協働推進担当係長の渡邊と 申します。どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>本日は、牛山副会長が遅れていらっしゃるとの連絡をいただいております。ただいま、委員11名様のうち9名様、御出席いただき、1名の方に代理出席いただいております。よって、過半数に達しておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条の規定に基づきまして、会議は、有効に成立したことを御報告申し上げます。</p> <p>なお、3月の書面会議の資料で御報告をいたしましたとおり、事業者公募により選任されました、日本生命保険相互会社、第一生命保険株式会社の2事業者様にも、新委員として、本日、御出席いただいております。</p> <p>また、本推進会議につきましては、議事録作成のため、録音させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>それでは、議題に入る前に、本日の机上配付させていただいております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、本日の本会議の次第、A4判のものになります。そして、配付資料1番、A4判横の令和4年度大田区区民協働推進会議委員名簿になります。こちらと配付資料2番、こちらもA4横判になります。令和4年度地域力応援基金助成事業の審査委員(案)及び審査スケジュール(予定)というものになります。配付資料3番、A4縦のものになります。令和4年度大田区区民協働推進会議開催及び審議内容予定(案)というものになります。</p> <p>また、本日、先ほどもお話ししましたとおり、新委員の方もいらっしゃっておりますので、参考資料といたしまして、参考資料1番、A4縦の大田区区民協働推進条例の条</p>
-----	---

	<p>文のもの、両面刷りのものになっております。こちらが1枚と、参考資料2番、大田区 区民協働推進会議設置要綱、今回の設置要綱の条文になります。こちらを両面刷りのも のがA4で1枚。そして、この後、お話しいたしますスタートアップ助成とステップア ップ助成の二つの助成金事業の募集チラシも机上配付にて参考配付させていただいて おります。</p> <p>以上になりますが、配付資料で漏れなどはございませんでしょうか。 それでは、ここで、中島会長にご挨拶をお願いいたします</p>
会長	《会長挨拶》
事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは中島会長に進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、進行をさせていただきます。</p> <p>区長にご出席いただいておりますので、最初に区長から、恐縮ですが、御挨拶を頂戴 したいと思います。</p>
区長	《区長挨拶》
会長	<p>区長、ありがとうございました。</p> <p>続きまして、区長から、恐縮でございますが、新しい委員の皆さんに委嘱状の交付を お願いいたします。</p> <p>事務局で進行してください。</p>
	《委嘱状交付》
会長	<p>続きまして、委員の紹介となりますが、新型コロナウイルス感染防止の取組みから、 20時30分頃を目途に終了したいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。</p> <p>それでは、最初に、新委員の皆さんに自己紹介をお願いいたします。</p>
	《新委員挨拶》
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今日は、令和4年度初回の会議でございますので、他の委員からも一言ずつご挨拶を 頂戴したいと思います。名簿順ということで、名簿が配付されておりますので、順にお 願いをしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
	《委員が挨拶しながら区長との懇談がなされた》
会長	以上をもちまして、区長との懇談を終了させていただきます。ありがとうございました

	た。
区長	またこういう機会をぜひつくってください。よろしくお願いします。
会長	それでは、次の議題の「令和4年度スタートアップ助成、ステップアップ助成の審査員・審査スケジュールについて」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、御説明をさせていただきます。</p> <p>まず、これまでの配付資料2番のA4横長の地域力応援基金助成事業の審査員（案）及び審査スケジュール（予定）を御覧いただければと思います。</p> <p>今回、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、審査員選出の御説明の前に、助成事業の概要や区民協働推進会議の役割を簡単に御説明させていただきます。</p> <p>先ほど、机上配付をさせていただいておりますスタートアップ助成、ステップアップ助成のチラシ等も御覧になりながら、お聞きいただければと思います。</p> <p>地域力応援基金助成事業でございますけれども、区民や事業者の皆様からお寄せいただいた寄付金を積み立て基金としております。その基金を活用し、区民活動団体が取り組む公益性があり、地域への貢献につながる事業を資金の助成という形で支援しているものとなります。</p> <p>また、この助成制度をきっかけとしまして、連携・協働が推進されるような、そのような視点での取り組む事業であることがポイントとなっております。</p> <p>助成メニューは三つございまして、スタートアップとステップアップ、チャレンジ助成というものがあります。</p> <p>今回は、スタートアップ、ステップアップの審査を務めていただく審査員の選出に関して、事務局案というかたちでお示しさせていただいたものを御検討いただければというところになります。</p> <p>まず、審査員になりますが、公募委員の方が1名、学識経験者として御参加いただいております牛山委員、社会福祉協議会選出の委員、区職員からの選出委員、事務局の管理職1名の合計5名程度の審査委員で審査をお願いできればと思っております。</p> <p>また、一般公募委員の審査委員につきましては、採択団体に対する経過観察への御協力をいただければと考えております。</p> <p>なお、今、お示ししました事務局案で御決定いただいた場合ですけれども、一般公募委員の審査委員についてですが、申請団体とのご関係上、審査に関わっていただけるかどうか御事情を伺う必要もございまして、どなたに御担当いただくか、この本会議終了後、事務局と後日、調整させていただくことで御了承いただければと思います。</p> <p>審査委員の選出につきましては、事務局案を含めて、以上となります。御検討をお願いします。</p>
会長	この経過観察は何年やるんですか。
事務局	1年です。

<p>会長</p>	<p>経過の観察だけでなく、次の人に何か指導していくというのかな、自分たちが身に付けたことを、次の人に譲るといのかしらね。つなげていくようなやり方ができないものですかね。そのほうが効果は上がると思うんです。</p> <p>結局、助成金が終わるとそれで終わりになっています。もう完全に終わっちゃいますよ。</p> <p>だから、せっかくたくさんのお金を使って支援しているわけですから、自分たちのやったことを後世に残す、活動が継続するようになればもっと充実してくるのではないかという考えを持っているんです。先生、どうですか。</p>
<p>牛山委員</p>	<p>ありがとうございます。大変重要な御指摘だと思います。今、事務局からお話があった経過観察は、この助成金を出している団体が活動をしっかりやっているかみたいな部分で今までもやってきたことだと思うんですね。</p> <p>ただ、その一方で、それだけじゃなくて、今の御指摘のように、これは、大田区だけじゃなくて、どこの自治体でも助成金を出しているうちはやれるんだけど、助成金が終わると、もう活動が終わってしまうみたいなことが大きな課題で、それをどう次につなげるかというところで言うと、この会、あるいは行政がフォローアップみたいなことをするとか、その事業の助成期間が終わった後にその皆さんがまたネットワークをつくらせてつなげるとか、こういう事業をやってすごく良かったということになれば、行政が必要な部分を企業とか区民活動団体、あるいは自治会等と継続的にやっていくにあたって、つなげ方みたいなものをどうするかというのは、やはり大きな課題だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>先生、経過観察を3年にするとかはいかがですか。</p>
<p>牛山委員</p>	<p>経過観察を助成金が出せなくなってもやると、団体から怒られそうな気もするので、ちょっと違う仕組みで、フォローアップとかネットワークづくりみたいな形でやったらどうかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>行政が指導しないとできないと思いますよ。行政主導というのは、すごく大事で、指導していただくほうがやりやすい。</p> <p>皆さん、感想を聞かせてください。中原委員、どうですか。</p>
<p>中原委員</p>	<p>実は、社会福祉協議会の地域福祉活動団体支援事業というので助成金をやっております。会長がおっしゃったとおり、同じような悩みを抱えておまして、いかにその活動が長く続けるか、そして、また、広がりを持てるかと。支援するという役割ですね。それが必要なかと思っています。</p> <p>お金だけでなく、いかにその団体が動きやすいように、継続できるようにあるいは他と連携できるように社会福祉協議会自身がどういう支援をするか。これが、重要なかと思っています。</p>

	<p>ただ、私どものところは結構団体数が多いですので、難しいんですけども、それをいかにするかなというところで、今、我々でも考えている最中です。</p> <p>それで、ちょっとヒントになるのが、今、コロナ禍の中で食料に対しての緊急度合いが深まってきていて、フードバンク、フードドライブという事業を展開しようとしたところ、あらゆる方面からフードドライブをやりたいと、町会からもきております。</p> <p>それを考えると、活動したいと思っている方々は結構いらっしゃるんですよ。やはり何が大事かというところ、そこにある程度の社会貢献的といいますか、自分がこの活動をする事で人の役に立ったとか、あるいは自分自身が成長するだとか、そういった何か、非常に魅力なんじゃないかなと。それがヒントになるんじゃないかなと思いました。</p> <p>それで、社会福祉協議会としましても、この団体同士が結び合うような、何かきっかけといいますか、ちょっとした会合みたいなものを考えたいなと思っているところです。</p> <p>以上です。参考になったかどうか分かりませんが、会長のおっしゃったことを含めれば、いかに助成した後の支援をどうするかというところになるのかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほか、御意見をおっしゃる方。はい、お願いいたします。</p>
小林委員	<p>会長のおっしゃっているところはもちろんだと思うんですけど、牛山先生がおっしゃった助成金を受けていた事業をその後どうやって発展させていくかというところですけど、コーディネーター養成講座に出た人たちが参加できる次のステージというのがあるじゃないですか。集まってやるやつとか。</p> <p>この助成金を受けた人たちしか参加できない、例えば、キーホルダーのみまーもみたいに民間から始まったもので、気がついたら行政がちゃんと関与している。事業として、そういう形で発展していくパターンがあったりする。我々のキャリア教育は、そこを目指してはいるんですけど、今、任意でやっているのが、学校から事業を請け負うような形になっていけばいいなと考えているんですけど、この助成金を受けた団体しか受けることができない、そういったところで学べるというか、きっかけを与えられるような形というのは、発展系としてあってしかるべきなのかなと思います。</p> <p>それであれば、そこに参加している人たちの経過観察はできるんじゃないかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先生、御意見はありますか。</p>
牛山委員	<p>非常に重要なお話をいただいたと思っています、やっぱり次につなげれば発展するというのが、どうしてもうまくいかないの、いろんな自治体でも苦戦している。大田区は、そういう意味では、うまくいっているほうかなとは思っているけれども、会長がおっしゃっているその行政の支援というのをどう考えるかというのも、ちょっとみ</p>

	<p>んなで議論してみようかなというのがあります。区民協働の担当課では、それが所管の仕事なので、一生懸命やったださるけれども、他の区がやっていないというわけではないですけど、その事業の性格によって、教育委員会であったり、福祉担当部局であったり、まちづくり関係だったり、いろんな所があって、区民協働の皆さんが御支援していただいているけれども、それぞれの所管部署がこの区民協働の事業をよく理解して、もっとそれぞれがつながって事業が継続できるようなその仕組みとか考え方みたいなものもやっていけばいいと思うし、小林委員のおっしゃられたことも、全くそのとおりじゃないかなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>リーダーシップが行政なのに、一番できていないのは、役所なんですよ。おかしいです。目的が同じなのに、あの部が来たり、この課が来たり、あっちからこっちから話がある。だから、行政も連携を取って、一つの目的が決まれば、どの課とどの課が一緒になって話をし、一つにまとめて持ってきてくれれば、こっちは助かるけれども、同じ話をいろいろな課が持ってくるというケースがいっぱいあります。</p> <p>だから、言い出しっぺは、率先して協働しなきゃ駄目。ですよ、先生。</p>
<p>牛山委員</p>	<p>おっしゃるとおりです。</p>
<p>会長</p>	<p>要領が悪いというか、何かみんな縦割りでやっているからだと思うんですよ。よその部と連携できない。そんなことをしていたら、受けるほうは大変ですよ。</p> <p>だから、行政も当てにならないと、私たちだって言うことを聞かないですよ。それだけでなく、地域のことで毎日てんやわんやしておりますし、さっきも申し上げたように、高齢化になって、なかなか動きが鈍くなりました。若い人がなかなか入ってこない状況で、みんな努力しておりますので、少しそういう部分で考えていただいて、やりやすい状況くらい作ってください。町会があるということは、すばらしいことなんです。</p> <p>まず、本当に非常時に備えているとか、こんなにふだんからスクラムを組める組織ってないですから。日本の国ですけど、とにかくそれを生かしていくことをやるべきことだと思っておりますけども、いろいろ状況が変わってきていますし、先ほどから申し上げておりますように、なかなか若い人が入ってこない。少子高齢化の問題ですね。</p> <p>今、過渡期で本当に大変です。高齢者がすごく多いです。今、改めてもらわないと、後を引き継ぐ人がいないですよ。続かなくなっちゃう。町会無用論が出てきます。</p> <p>ですから、そうなったら困りますので、今から布石をしておく段取りを行政と私たちが一緒になって協力して、そういうものを打ち出していただきたいと思います。お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いては、区民協働推進会議の開催及び審議内容予定について、配付資料3番なります。本日が第1回、4月26日の会議になります。今年度は概ね残り6か月で7回ほどを予定しております。各回の内容は、大まかにこちらに記されているとおりになります。</p> <p>次回は、6月の中旬から下旬にて予定しておりますので、詳細は、後日、事務局のほ</p>

	<p>うから通知させていただきます。</p> <p>御説明は、以上となります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>何か御質問がありましたら、お願いします。</p>
中原委員	<p>地域力応援基金助成事業の審査員及びスケジュールの案については、了承されたということでしょうか。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。改めて御説明しますと、書類審査と面接審査に分かれておりまして、書類審査は5月中旬頃を予定しております、面接審査はスタート・ステップ、同日での審査となります。今のところ、6月12日を予定させていただいております。</p> <p>この案でよろしければ、このように進めさせていただければと思っております。</p>
会長	<p>皆さん、事務局の今の説明でよろしいですか。</p> <p>《全員了承》</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局からもう一点ございまして、本日が令和4年度初回の会議となりますので、ここで、地域力推進部長の今岡から御挨拶を申し上げます。</p> <p>《部長挨拶》</p>
事務局	<p>それから、改めまして、先ほどから発言もしているところですが、新しい職員を御紹介させていただきます。区民協働担当課長となりました、武田でございます。</p> <p>《武田課長挨拶》</p>
事務局	<p>続いて、区民協働担当係長の渡邊でございます。</p> <p>《渡邊係長挨拶》</p>
事務局	<p>区民協働推進会議でこれまで培ってきたことを大切にしながら、積み重ねたものを大切にしながら、できれば私どもで、新しい風を吹き込むようなこともしながら、勉強しながら、進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>部長、ありがとうございました。</p> <p>では、事務局から今後の予定について、お願いします。</p>

事務局	<p>今年度7回の会議を予定させております。次回は、6月中旬から下旬を予定しております。</p> <p>また、日程の詳細が決まりましたら、事務局から後日、皆様に御連絡を差し上げていきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>会議を終了させていただきます。皆様、本日はありがとうございました。</p> <p>《閉会》</p>